

大豊建設株式会社 中期経営計画 2020-22年度

2020年5月13日



人と自然が共生する地球の未来を創造する エンジニアリング・コントラクターであり続けたい

大豊建設は創業以来一貫して技術力を第一に考え、
目に見えないところで社会を支えるインフラの建設に邁進してきました。
当社が開発を行ったニューマチックケーソン工法や、泥土加圧シールド工法などは、
業界を牽引する画期的な技術であり、
近年、これらの技術はゲリラ豪雨などの異常気象に対応する地下貯留管の建設など、
都市の防災・減災に不可欠な技術として注目されています。

創立70年を迎えた今、100年企業を目指し、
これまで培ってきた「信頼に応える確かな技術」をモットーに、
今後も人々の暮らしを支える企業として成長してまいります。

2017-19年 中期経営計画の振り返り

成長投資の準備を整えることができた

業績は計画を概ね達成、財務体質は一層の強化・安定化へ

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2020年3月期 目標
受注高 (億円)	1,543	1,930	1,664	1,500億円以上
売上高 (億円)	1,496	1,508	1,628	1,500億円以上
営業利益率	7.5%	6.1%	5.2%	5%以上
ROE	14.9%	10.4%	10.6%	10%以上
自己資本比率	40.6%	41.5%	42.1%	45%以上

2020-22年 中期経営計画の外部環境：自然災害の増加

都市部の雨水貯留施設の増設が必要

近年、集中豪雨が増え都市部の雨水処理能力が追いついていない

1時間降水量50mm以上の5年ごとの平均発生回数

155%



参照：1時間降水量50mm以上の年間発生回数（気象庁）

2020-22年 中期経営計画の外部環境：自然災害の増加

DAIHO CORPORATION

大豊建設株式会社
信頼に応える確かな技術

ゲリラ豪雨を制圧せよ

東京の地下30に、直径は、全長4.2に、巨大下水道管がゲリラ豪雨を迎え撃つ。大雨の際に一時的に雨水を溜め込み、地上にあふれるのを防ぐ施設、「江東幹線」現在建設中。

長年培った信頼性の高い技術で街を浸水から守りたい。たとえ目には触れなくても、安心で安全な暮らしを創ることが私たち大豊建設の使命です。大豊建設は令和元年、創立70周年を迎えました。

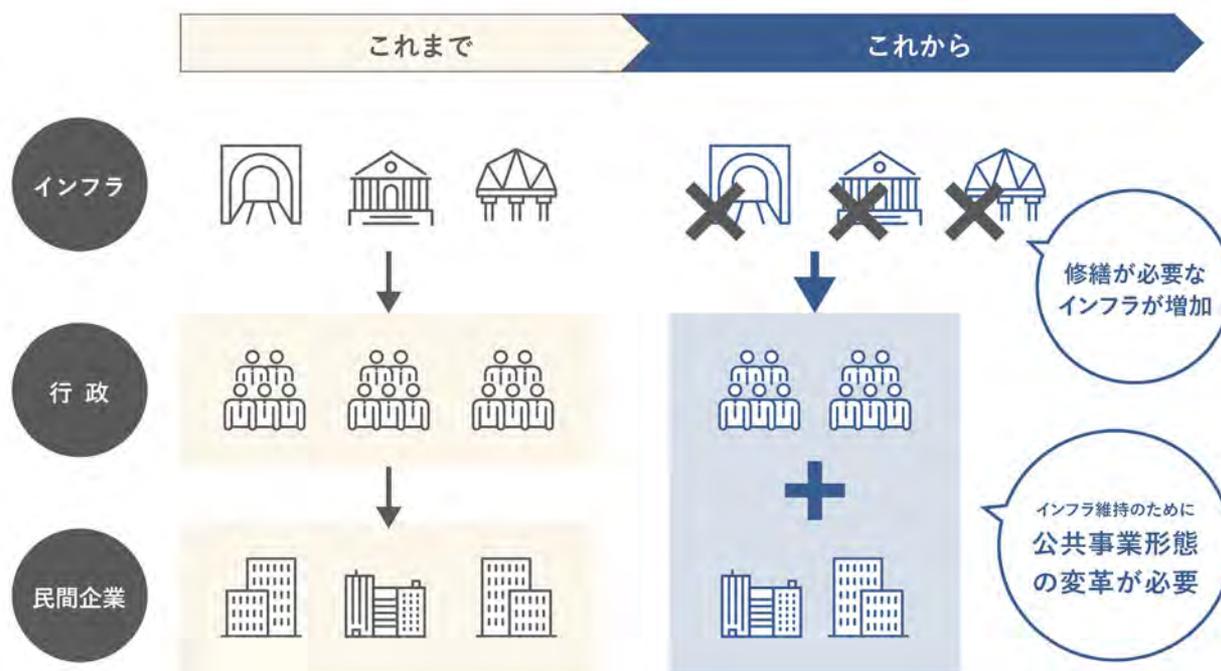
〒104-8289 東京都中央区新川一丁目24番4号 TEL: 03-3297-7000

2020-22年 中期経営計画の外部環境：人口減少社会の到来

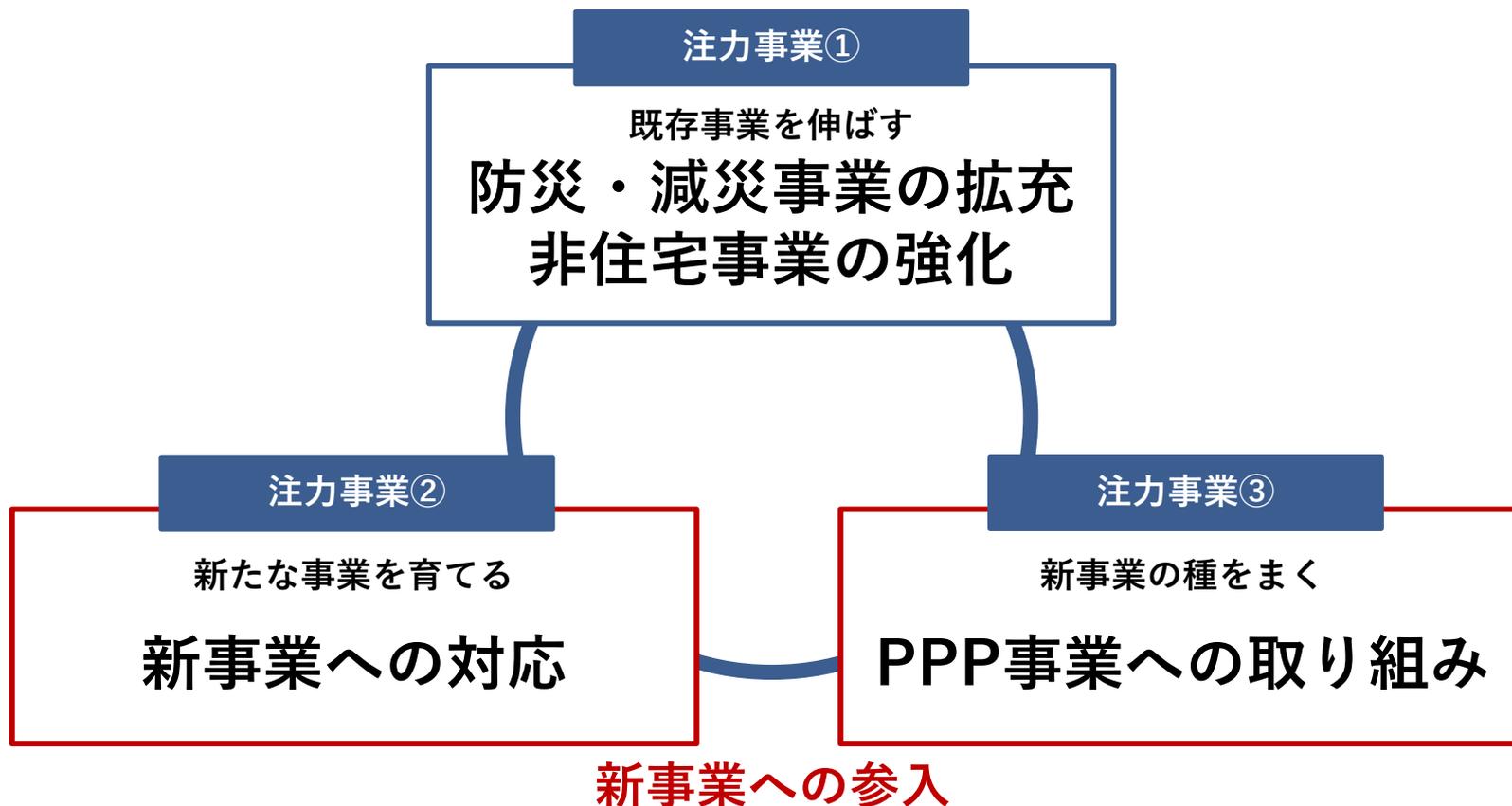
人口減少社会の到来を見据えた取り組み

①事業方針の明確化（建築事業分野・事業エリア）

②公共事業形態の変革に対応



100年企業を目指す大豊建設の事業と利益の基盤づくり



100年企業を目指す大豊建設の事業と利益の基盤づくり

防災・減災事業の拡充

ニューマチックケーソン工事
シールド工事

非住宅事業の強化

物流施設・工場・公共建築物

新事業への対応

維持修繕事業

首都圏事業の強化

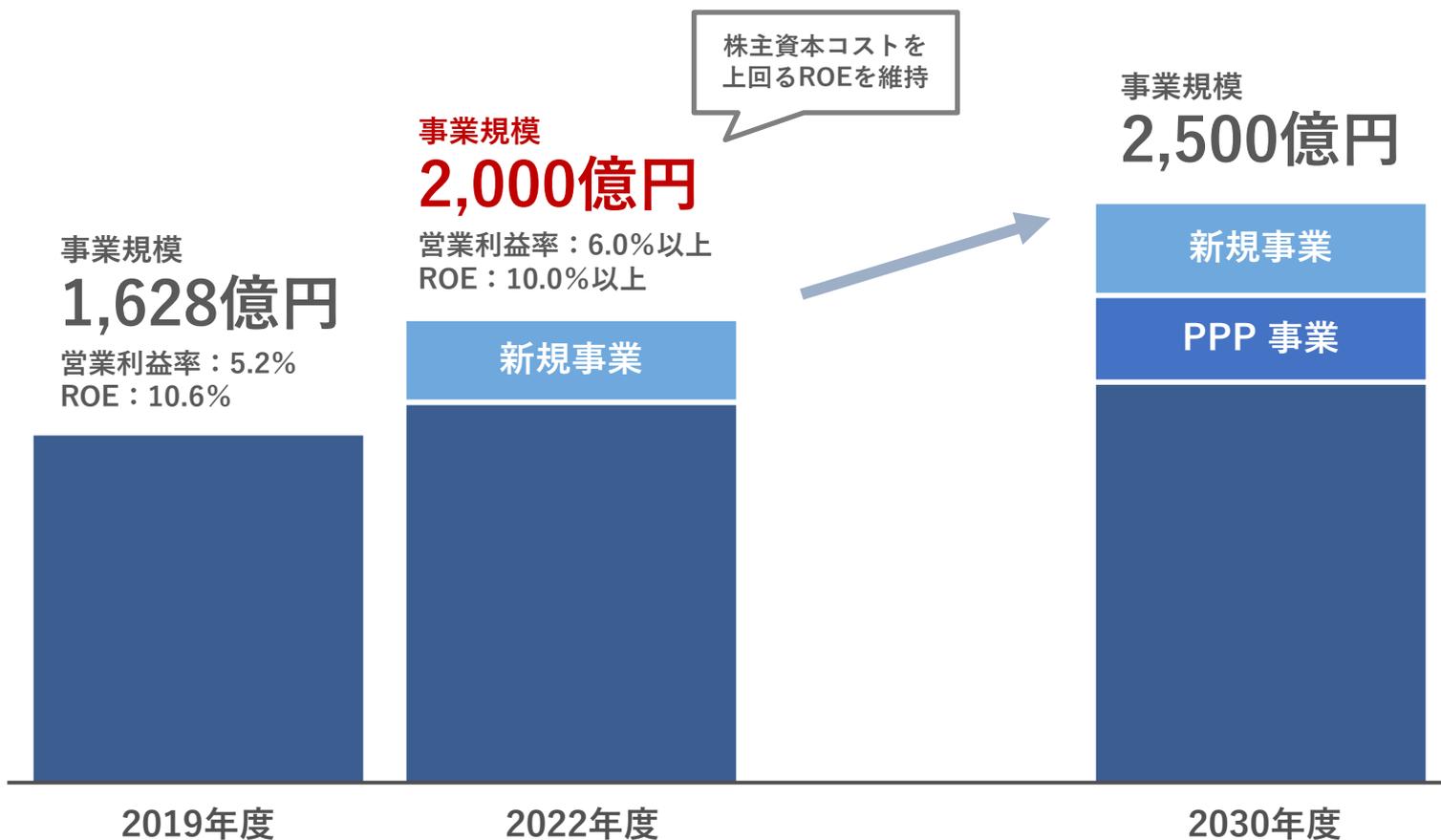
CLT事業・不動産事業

PPP事業への取り組み

金融機関との連携

専門技術
コンサルタント技術

中長期に目指す姿



戦略投資
300億円

- 1 : 手元資金
- 2 : 期間中に生み出す
新たなキャッシュ

成長投資

戦略に基づく3カ年計画

株主還元

不動産投資

研究開発投資

連結配当性向 30%以上を確保

自己株式取得 成長投資の進捗を考慮し、臨機応変に実施

配当性向



※2018年10月に5株を1株に併合

100年企業に向けて、人と技術と

風通しがよい社内環境をつくり、社員一人ひとりの働きがいに寄り添う

人材育成

- ・ 誰もが挑戦し、活躍できる環境
- ・ ワークスタイルの改革
- ・ IT環境整備で働き方の効率化



本社を2019年3月にリニューアル

技術伝承

- ・ 得意技術の深化と進化
- ・ 新分野への応用と新技術への挑戦
- ・ IT技術との融合



技術研究所を2020年3月に開設